

国際政治

130

現代史としてのベトナム戦争

日本国際政治学会編

序説 現代史としてのベトナム戦争	由井大三郎
ベトナム労働党の南部開放政策と中ソ	庄司智孝
ラオス危機と米英のS E A T O軍事介入計画	寺地功次
社会主義諸国間関係における「国際主義」とナショナリズム	朱建栄
ジョンソン大統領の派兵後のベトナム戦略	福田茂夫
ジョンソン政権と「ラッセル法廷」(ベトナム戦争犯罪国際法廷)	藤本博
ベトナム戦争における日本政府の和平努力と日米関係 ——1965年～68年	菅英輝
ベトナム労働党の外交闘争からみたテト攻勢	遠藤聡
ベトナム戦争とカンボジア	野口博史
ベトナム戦争終結と日本外交	田中康友
戦史は書き換えられたか	松岡完
<hr/>	
対人地雷全廃レジーム形成過程の分析	足立研幾
<hr/>	
<書評論文>	
武力紛争とジェンダー	竹中千春

2002年5月刊